

広報



村章



NO. 164

平成5年12月1日発行

(恩納村の人口)	
平成5年10月末現在	
人口	9,020(-17)
男	4,622(-12)
女	4,398(-5)
世帯数	2,782(-15)
() 内は前月比	



昭和21年瀬良垣、恩納から独立して太田区として新しい行政区がスタートしました。

太田区の行政がスタートして以来カジマヤー（白寿）を迎えられるのは、眞ウトさんが初めてです。

ウトさんは子ども5人孫22人ひ孫28人に囲まれ悠々白適の毎日。目や耳もしっかりしていて、記憶だって抜群。

身の回りはもちろんのこと、畑仕事だって現役だというおばあちゃん96歳。（太田区）

恩納村役場

編集発行／総務課

印刷／たいよう印刷



お酒を飲み過ぎていませんか？

12月は忘年会の季節。どうしてもお酒を飲む機会がふえます。

医学的な適量を守れば

「酒は百薬の長」ですが、昔から「酒は百薬の長」といいます。その一方、「酒はきちがい水」ともいわれます。真偽のほどはいいいますと……。

もちろん、これは医学的な事実にもとづいた数字で、酒飲みが自分でいう「適量」ではないことにご注意ください。また酒の種類にも関係なく、ビールをコップ1杯飲んだ後、ウィスキーの水割り1杯に日本酒0.5合といった飲み方をしても、全体としてアルコール量が25〜30gを超えなければ、医学的には適量といえます。

よくチャンポンは悪酔いするといいますが、身体にとってワインも日本酒もアルコールであることに変わりはなく、確かな医学的根拠はありません。強いて挙げれば、酒の種類が変わると味も変わるの、つい飲み過ぎてしまうためでしょう。

さて、医学的な適量の根拠は2つあります。一つは

肝臓の能力、もう一つは血液内の中性脂肪です。

肝臓にあとで詳しく触れることにして、アルコールは体内に入ると肝臓で「中性脂肪」という脂肪に変わります。これが皮下脂肪に溜れば肥満体となり、肝臓に溜れば脂肪肝、心臓に溜れば心肥大をおこすこともあるので要注意なのです。しかし、さきほどの適量を守れば血液内の中性脂肪はだいたい正常範囲にとどまり、体重が変化することはありません。

また、最近になってアルコールにはHDL、コレステロールを増やす働きがあることもわかりました。ただし、これも医学的な適量の範囲ならので、飲み過ぎは肝臓病や脳血栓への早道。

ほかに、適量のアルコールは血管を拡張して血圧

を低下させる、ストレス解消になる、睡眠効果を高めるなどの良い働きがあります。ところが適量を超えれば良い働きはなくなり、中には暴れたり騒いだりして「きちがい水」となるわけです。つまり、適量を守るのがむずかしいという点に、アルコールを巡る問題があるのです。

肝臓は残業はしても

能率アップはできない臓器 体内でアルコールが分解される能力には限りがあり、一定時間内には一定量しか受けつけません。ときおり若者の急性アルコール中毒が報じられますが、これは「イッキ飲み」のような自分の分解能力を超える早いピッチで酒を飲み続ければ誰にでもおこります。そうならないためには、まず適量を守ること。そして適量にツマミを食べながら、ゆっくりと飲むことが大切です。ツマミは和食、

刺身や枝豆、冷ややっこなどが一番おすすめできます。酒そのもののカロリーが高いうえチーズやフライドチキンなど脂肪の多いものをつまんで、太らなくともコレステロールが心配です。また酒のツマミにはイカの塩辛など塩分の高いものが多いので、その点も気をつけましょう。

最近十年10年間で日本人の年間アルコール消費量は3〜5倍になったといわれ、なかでも女性と青少年の飲酒機会の増加が目立ちます。わたくし自身はお酒を飲むことに反対ではありませんが、アルコール消費量の増加にもとって、大量飲酒者、いわゆるアルコール中毒患者がどんどん増えており、家庭を破壊し社会的にも医学的にも大きな問題です。同じ飲むなら上手に飲んで、酒を「百薬の長」にしませんか。

やっぱりわが家で暮らしたい。

恩納村高齢者生活 実態・意識調査

平成五年二月二十二日から平成五年三月十五日までの期間、村内に住んでいる六十五歳以上の高齢者全員を対象に高齢者生活実態・意識調査が行われました。このほど、報告書が完成しましたのでその中から、調査結果を要約し、ここにお知らせ致します。



《回答者の基本的属性について》

回答者は全部で二二〇二人、男女の割合は4対6の割合で女性が多い。一般高齢者と要介護老人では約4対6の割合で女性が多く、一人暮らし老人では1対9の割合で女性が圧倒的に多い。

年齢別にみると、「65歳以上69歳以下」が一番多い。

「家事」や「自営業」、「勤めている」など3割の高齢者が働いている。世帯構成を見てみると約6割を含めた3人以上の世帯構成であり、8割以上の高齢者が同居の家族との関係に満足している。また、別居している子供世帯とは7割が頻繁

に付き合いをしていると答えている。

《出身地及び居住空間について》

出身地は「恩納村」が8割強で一番多く、次いで「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」、「他動府県」となっている。居住の理由は「親(祖先)が恩納村の人だった」が一番多く、「恩納村の人と結婚して」「恩納村に建物(土地)を買った」などの順で、居住期間は「50年以上」が最も多い。

《住み心地について》

約7割の高齢者が「非常に住みやすい」と答えており99・2%の高齢者が「将来も恩納村に住み続けたい」と答えています。また「将来も恩納村に住み続けたい」理由として「住み慣れている」の回答が一番多く、次いで「自分の家(土

地)があるから」、「生まれ育った所だから」、「親や兄弟がいるから」、「自然環境がいいから」などと答えている。

《健康及び医療について》

現在の健康状態について約7割が「健康」であると答えている。また約7割が「障害はない」と答えているが約8割は「持病をもっている」と答え、一番多かった回答は「関節炎・神経痛・リュウマチ」次いで「高血圧」、「目の病気(白内障)」となっている。「体の具合の悪いところ(障害)がある」の回答には「肢体不自由」、「視覚障害」などの順となっている。

また、「障害が軽いので申請しない」、「高齢なので申請しても意味がない」などの理由で障害を持っている人の6割は障害者手帳を

もっていない。また、5割強は医師の治療を受けており、6割の高齢者が主治医がいると回答しており、その主治医の約3割は「村診療所」である。「年一回以上の健康診断」については90・2%の高齢者が受診している。

《身体能力の状況について》

95%の高齢者が意思表示に問題はないが、実数として11人の方がならかの障害により意思表示に不自由を感じている。また、99%が耳に、98%が目それぞれ不自由を感じていない。歩行の状況についてはほとんどが普通に歩行できるが、「車いすを使用」と「自力で移動できない」を合わせると28人が自力での歩行が困難である。

《地域活動への参加について》

ほとんどの高齢者の方が近所づきあいを大切にしており、10人中8人9人の高

性を感じている。また、8割の高齢者が地域での共同作業や行事に参加しており、7割が老人クラブ等の会合や活動に参加している。

《高齢者の楽しみについて》

高齢者の楽しみは年金の受給や子や孫、親戚・友人とのつきあいである。また、日中の楽しみとして、「テレビ・ラジオ」、「農業」、「家事」が多い。しかし、「趣味はない」と答えた方が10・8%(230人)いることも事実である。

《経済生活について》

生活費については約9人に1人が生活苦を感じており、大半が年金の収入のよって家計を支えている。また「働きたい」と職を希望した人の内訳をみると「将来に備えての貯え」が最も多く、働けるうちに少しでもと考える高齢者が3人に1人は存在する。

《現在の心境について》

「自分の健康」であり、一番の不安は「寝たきり・ぼけ」と答えている。また、老後は趣味を持ち、のんびり気ままにすべきと答えた人が3人に2人の割合でいる。

《寝たきりについて》

寝たきりになった年齢は「80歳以上」が最も多く、後期高齢者の寝たきりでは女性が多い。寝たきりの原因は、「神経痛・リウマチ」、「高血圧」、「喘息」など、結果として、男性「脳卒中」、女性「骨折」が最も多かった。また、床ずれは男性に比べて女性の方が多いようである。

《介護者について》

介護者の続柄で最も多いのは「嫁」であり、その介護者の年齢をみると、70歳代が全体の25%を占めている。

《介護者上の問題について》

介護を大変だと思っている人は9割、その内容は「入浴の世話」が最も多く、

平成5年度は老人保険福祉計画を策定し、「恩納村高齢者生活実態・意識調査」を基礎資料として平成6年度の実施に向けて準備を進めています。





台湾にて ゲートボールで交流 南恩納老人会



ゲートボールをとおして国際交流をしようと南恩納老人会(仲西智祿会長)は十月二十一日から三泊四日の日程で台湾を訪れ、高雄県のゲートボールチームと交流試合を行い親交を深めました。

訪台したのは南恩納老人会二十五人。今年五月に台湾の老人会・美濃鎮槌俱樂部を受け入れたことから交流が始まり、今回訪台して親善試合をすることになりました。

試合は二十二日に高雄県の東門国民小学校校庭で開催され、美濃鎮側二十人、南恩納側十三人が対抗試合、混合試合など四試合をこなしました。

台湾老人葉戦前の皇民化教育により片言の日本語が分かるとあって、ボールがゲートをくぐると互いに褒め合ったり、失敗すると残念がるなど心の交流を深め、来年の再会を約束しました。

復活は 継続なり

安富祖区 豊年祭

10年ほど、とだえていた安富祖区の豊年祭は昨年の公民館落成5周年をきっかけに復活しました。

なくしてはならないと、二才団を中心にOBや区の協力を得て、11月7日、公民館において開催されました。

メインはやっぱり組踊り。幕に描かれたお城の窓から顔をのぞかせる演出には圧倒される場面でした。



矢蔵(組踊り)の一場面

身ぶり手ぶりの熱弁

第五回恩納村童話・お話し意見発表大会(恩納村PTA連合会主催)が十一月八日、安富祖小中学校、喜瀬武原小中学校、仲泊小中学校の三会場で行われました。

小学校低、高学年、中学校の男女三十人が参加、豊かな表情とジェスチャーで

精一杯語り、熱弁を振る舞いました。

審査の結果は 次のとおりです。

〔童話大会〕
最優秀賞・伊波俊介君
(安富祖小学校三年)、
佐渡山若菜さん
(安富祖小学校一年)

優秀賞・古堅宗光君
(仲泊小学校一年)、
外間春香さん
(喜瀬武原小学校三年)

〔お話し大会〕
最優秀賞・照屋哉君
(安富祖小学校四年)、
一俣ひな子さん
(喜瀬武原小学校五年)
優秀賞・安富祖寿君
(山田小学校六年)
上原綾乃さん
(安富祖小学校六年)

でおいきょう
やぎたかや



童話大会の部：最優秀賞の佐渡山若菜さん

出生記念に アルバム贈呈

出生届の際、お子様の健康やかな成長を願って、記念アルバムが贈られることになり、このほどアルバムが完成しました。

完成後第一号として、宇山田八五番地の志喜屋徹さん、さゆりさんの長男・幹ちゃんに記念アルバムが贈られました。

なお、この記念アルバムは、四月にさかのぼり、五年度の出生児の皆さんへ贈られました。



パパのかわりにおじいちゃんとママと村長室を訪れた幹ちゃん



かわいい演技に おもわずにっこり 三保育所合同運動会

秋空に響くパーランクー（エイサー）

秋空に響くパーランクー（エイサー）
抗リレー等、さわやかな秋空のもと、プログラムも多



負けられないぞ！

11月6日、コミュニティ広場において、村立の三保育所（安富祖、恩納、山田）による初の合同運動会が行われました。まもなく二十五周年を迎える恩納保育所。二十五周年に向けての試みとして行われました。

運動会には、パパやママ、おじいちゃん、おばあちゃん、お兄ちゃんたちもかけつけ、にぎわいをみせました。ちびっこによるかけっこ、ママとダンス、園児全員によるエイサー、パパさんたちによる保育所対抗リレー等、さわやかな秋空のもと、プログラムも多



今日はなんだかケツ圧が……



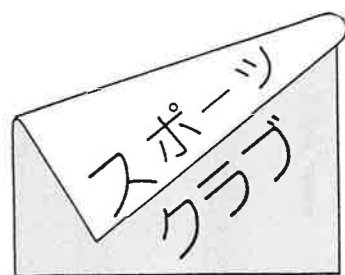
手をつないで仲よく選手宣誓

恩納村老人クラブ連合会（大城勝保会長）、恩納村老人会（名城幸代会長）主催の第十三回老人・婦人運動会が十月三十一日、コミュニティ広場において行われました。

の激励のあいさつの後、名嘉真区老人会長の仲村盛光さんと村婦人会体育部長の宇室久美子さんがなかくよく選手宣誓を行いました。万座つりにケツ圧測定（風船割り）、各区対抗年齢別リレー、来賓によるスプ

走って踊って笑顔の渦 老人婦人運動会

インリレーなどプログラムも多彩に競技が行われました。少し肌寒くはあったものの、会場には大きな拍手と笑いの渦が巻き起こっていました。



総合優勝を飾った、瀬良垣チーム

5種目に新記録

恩納村陸上競技大会

恩納村体育協会（新門雄会長）主催による第十九回恩納村陸上競技大会が十月十日、村立赤間運動場において開催されました。

一般男子の部十八種目、女子の部十二種目、壮年の部十一種目に十五チームが参加、秋晴れのもと熱戦が

- 〔新記録〕（敬称略）
- 女子走幅跳び 当山恵理子 4m48cm（瀬良垣）
 - 女子100M H 仲本要 18秒9（山田）
 - 40代100M 吉山盛次郎 12秒4（宇加地）
 - 40代走幅跳び 長浜真春 5m74cm
 - 40代800M 吉山盛次郎 2分9秒（塩屋）
- 〔陸上一般男子の部〕
- 一位 瀬良垣チーム
 - 二位 塩屋チーム
 - 三位 前兼久チーム
- 〔陸上女子の部〕
- 一位 瀬良垣チーム
 - 二位 塩屋チーム
 - 三位 山田チーム



新人バレーボール大会にて初優勝を飾った石川高校

新人バレーボールに新しい風 石川高校初優勝

沖縄県高等学校新人バレーボール大会は、今年で十一回を数えます。この大会、過去十回はすべて西原対美里工の決勝戦でしたが、今年初めて石川がこの“二強”を下し、栄光を手に入れました。準決勝で美里工をストレートで破った石川は、決勝戦においても、全日本ジュニアメンバーのエース・徳元君を中心に、宮平君のスパイク、ブロックなどで得点を加え、攻守ともまとまりのあるプレーでストレート勝ち、初優勝を飾りました。

- 〔陸上壮年の部〕
- 一位 恩納チーム
 - 二位 塩屋チーム
 - 三位 瀬良垣チーム
- 〔陸上総合〕
- 一位 瀬良垣チーム
 - 二位 塩屋チーム
 - 三位 山田チーム
 - 四位 恩納チーム
- 〔年間体育総合結果〕
- 一位 瀬良垣チーム
 - 二位 恩納チーム
 - 三位 塩屋チーム
 - 四位 山田チーム
 - 五位 仲泊チーム
 - 六位 前兼久チーム



友だちもたくさんつくることができ、またひとつ友情の輪が広がりました。交流会のため、私たちは二週間ほど前から準備にとりかかりました。当日の日程や計画、メダルづくり、資料づくりなど、徹夜することもありました。結構大変でした。みんなに楽しんでもらい、無事終わることができ、頑張ったよかったです。

10月10日に行われた交流会、私たちジュニアリーダーは、勝連町、北谷町、石川市の各ジュニアリーダーの皆さんとスポーツ大会を楽しみました。種目はバスケットボールとバレーボールでみんな一生懸命でとても盛り上がりました。

ぼくらの体験学習より 広げよう 友達の輪

これからのいろんな活動にがんばります。



交流会を 終えて

当山なつき交流会全体を通して、反省する点は、恩納村のジュニアは活発的ではなかった。

シニアリーダーの先輩たちがまとめてくれて、楽しく過ごせた。もう少し活発になれるよう頑張らなくてはいけないような気がした。

とり・しんがり

「紅白歌合戦のとりを務める歌手が決まった」というときの「とり」は、最後を締めくくる役を指します。

宴席で、最後に回す納めの杯を「とりの杯」という地方もありますが、「とりを務める」といえば、もとは宴席の用語でした。

寄席では最後に出演する主任格の「真打」が「とり」。落語家の資格には、見習・前座・二ツ目・真打の四つがありますが、昔は真打の前に、三ツ目や準真打があったといわれています。

寄席の「とり」は、真打ちがその夜の収入を全部取り、出演した芸人たちに分けたことからとする説もありますが、定かではありません。

「とり」と同じく最後の役を務めるものでも、「しんがり」といえば、最後尾にあって追ってくる敵軍を防ぐ部隊のことで、「後駈」から変化した言葉。剣道や柔道の試合で最後に登場する主将を指すこともあります。

ただ、序例や順番の最後は、最下位・ビリの場合があり、そうした「しんがり」は「とり」の反対語なのかもしれません。



大好きな食べ物
喜納るみちゃん



ペンネーム
ウッキーさん



とうやまさゆりちゃん



ペンネーム
モンゴル少女大好きさん



あずまかずきくん



ペンネーム ちあきプーさん

らくがきノート



詩・作文コーナー

お	ぎ	を	ぎ	と	人	こ	で	も	た	？	と	ず	は	お	お	ま	は	え	と	た	ぞ	し		
も	よ	く	こ	に	そ	て	は	う	ま	は	て	つ	う	に	ど	う	が	ち	が	し	と	が	八	
い	が	で	ん	の	し	も	の	り	ら	た	た	と	き	は	も	お	は	う	の	け	と	け	月	ガ
で	た	の	ま	の	も	え	テ	て	が	き	き	お	ん	の	こ	ま	し	ま	ソ	ん	と	と	日	そ
な	で	し	な	か	し	の	ん	い	ん	し	れ	し	で	が	そ	い	だ	し	フ	や	こ	と	カ	く
り	す	い	つ	た	え	が	に	へ	ズ	ひ	せ	う	ん	い	え	一	は	と	ま	た	ト	ば	フ	う
ま	り	や	り	の	い	ニ	こ	ん	ま	か	だ	て	ば	こ	に	い	し	ニ	ホ	に	き	ハ	月	こ
し	と	す	は	た	り	一	う	は	で	ん	く	ん	の	お	う	た	し	一	ホ	に	カ	つ	う	う
た	て	こ	み	で	ま	て	ら	き	い	せ	た	れ	大	み	り	お	お	し	ル	に	カ	つ	う	う
も	う	は	ひ	す	し	ン	お	と	き	ん	で	ま	い	さ	う	ま	お	い	の	い	け	に	四	ま
い	が	こ	う	た	い	ド	た	い	ま	に	す	た	い	う	た	目	は	目	の	い	ま	し	カ	で
い	で	か	う	る	や	い	て	し	の	た	み	お	た	な	は	目	は	目	の	い	ま	し	カ	で



くば しょうくん さきやまいこちゃん とうやまとみたかくん かりまたみさきちゃん

妊娠から出産・子育てまで



夫のためのママ情報

マザーリング研究所代表 たけながかずこ

妊娠も後期(九ヶ月)になると、妻の不安は次ぎの二つに尽きるようです。
 ①もし一人でいるときに、陣痛が起きたらどうしよう
 ②本当に元気で、五体満足な子どもが生まれるだろうか

連絡先をこまめに電話

①の不安には、どんなときにも妻と連絡がとれる体制をつくり、それを書き出して電話の近くの壁に張り出しておきましょう。あなたの職場の電話番号はもちろん、移動をするならポケット・ベルを持つか、移動先をこまめに妻に連絡するようにしてください。出張や職種によっては、連絡がとれない場合もあるでしょう。

このような場合は親類や友人関係で、夫の代理役をいつで

見えない不安に具体的な対策を

実際は、出産までには痛みというより、おなかが張る感じが繰り返して起こり、それが規則的な陣痛になっていくまでに相当な時間がかかるものです。ですから、慌てなければ十分に連絡をとる時間はあるのです。しかし、①の不安は妻にとって一か月も続く「もしかしたら・・・」、目に見えない不安なのです。見えない不安には、夫が目に見える具体的な対策をたててあげることが妻の安心につながります。

夫の言葉が「特効薬」

②の不安は、男性流に言えば「気にしてもしょうがない」



しかし、妻にとっては分かっているけども悩んでしまうこれもまた目に見えない不安なのです。
 高年齢出産で話題になった女優の松坂慶子さんも、この不安と闘った一人です。しかし、彼女は、夫の次の言葉で救われたと言っていました。「たとえどんな子どもでも僕は平気。僕と君の子どもじゃないか。必ず一緒に育てよう」このように言ったそうです。
 「そんな恥ずかしいこと」と思わずに、言葉という具体的な形にしてあなたの優しさを表現し、繰り返してあげてください。
 妊娠中の妻にとって、夫からかけられるこのような言葉こそが、どんな名医や友人、親類縁者の励ましよりも有効な「特効薬」なのです。

友好都市から
こんにちは

岡山県加茂川町・岡山県のご真ん中にあり地図で見ると地形はハートの形をし、日本一の福祉のまちを指している町です。



掛声によって低く高く揺さぶられるみこし

頭上に舞のみこし
加茂大祭

岡山県三代祭りの一つ、岡山県指定重要無形文化財の加茂台祭が十月十七日、加茂川町加茂市場の総社宮で行われました。早朝、町内の八神社から出発したみこし行列が笛や太鼓のはやしに乗って道中を練り歩き、午前七時頃から次々と総社宮に参集します。祭りの中で「お遊び」というものがあ、それぞれの神社が自慢の獅子舞や棒遣い、



棒使い

恩納村と加茂川町は五年ほど前から、双方の祭りにそれぞれの特産品を持ち寄り、特産品及び文化交流が行われています。

太刀降りなどの伝統芸を披露します。クライマックスは「御神幸」、正午過ぎ花火を合図に始まります。八台のみこしが並び、威勢よく頭上に差し上げられた高さを競います。まさに祭り最高潮の場面です。
 上下左右に揺れる金色のみこし、脈々と継承されてきた伝統のお祭りです。
 十月の第三日曜日、一度かけてはみませんか。

年末年始

の交通安全県民運動

運動のスローガン

のみません、いねむりしません、とぼしません

年末年始は人の行き来が多くなり、交通渋滞や雑踏が予想されます。先を急ぐあまり、ドライバーはスピードの出し過ぎや無理な追い越しで歩行者は信号無視や無理な横断で思わぬ事故を招きやすくなります。

昨年一年間だけでも、一万一千人以上(一日に約三千人)の尊い命が失われ、八十四万人野がけがをしています。決して他人事ではありません。もう一度交通安全について家族みんなで話し合ってみましょう。

ドライバーの注意点



●スピードは控えめにし、車線をきちんと守り、車間距離は十分にとり、時間的にも精神的にもゆとりのある安全運転を心がけましょう。

●年末年始はお酒を飲む機会が多くなります。少しでもお酒を飲んだら、車やバイクの運転は絶対にしないでください。「少しくらいは大丈夫と考えること自体、すでに正しい判断

能力を失っている証拠です。シートベルトは、あなたの大切な命を事故から守ります。いままでの統計からみると、自動車乗車中亡くなった人の約八割が、シートベルトをしていませんでした。着用していれば、四割の人は命が助かったと考えられています。車に乗ったら、全員がシートベルトを締めましょう。

●飛び出しや、車の直前・直後の横断は非常に危険です。道路を横断する時は、遠回りでも必ず横断歩道や歩道橋を渡りましょう。

●横断歩道を輪たるときでも、左右の安全を確かめてから渡って下さい。

歩行者の注意点

●酔っぱらって道路をフラフラ歩くことは、非常に危険です。お酒を飲んでいても、道路を歩くときは気持を引き締めて、車に十分注意して歩きましょう。

警察本部庁舎落成記念警備点 警察音楽隊演奏会

警察の仕事ビデオ・パネルで紹介し、白バイやパトカーが試乗できるほか、特設ステージとアトラクション広場では警察音楽隊の演奏や警察犬の実演・白バイ隊員の走行訓練がおこなわれます。

日時 平成5年12月11日(土) 午後1時～午後6時
12日(日) 午前10時～午後6時

場所 沖縄警察本部新庁舎

※入場は無料です。

水がピンチ

節水にご協力を!



(歳末たすけあい) 運動
12月1~31日



戦没者調査にご協力下さい

悲惨な沖縄戦が終わって、48年がすぎました。県では、すべての戦没者に哀悼の意を表し、悲惨な戦争の教訓と平和の尊さを再確認するとともに、恒久平和を祈念して、戦没者の氏名を刻銘した「平和の礎」を建設することになりました。

この機会に、県・市町村が協力して沖縄戦にかかわるすべての戦没者の調査を実施することになっています。

調査期間は平成5年11月30日から平成6年1月31日までとなっております。

調査方法は戦前、戦後、戦時中のことなどについて詳しい方々から「聞き取り」によって行います。進

んでご協力くださるようお願い致します。

調査の詳しいことについては、村役場住民課援護担当 TEL966-8001 内線128までお問い合わせ下さい。

なお、戦没者名簿は各公民館に備え付けてありますのでご確認ください。

電話を通して「健康」をおとどけます。

24時間 健康テレホンサービス 那覇 (098) 833-4466

12月のプログラム

月	浄水器とアルカリイオン水
火	尿検査
水	乗り物酔い
木	入れ歯の安全剤
金	淋病
土・日	ことばの遅れ

12月28日から新年1月4日までは、上記プログラムではなく、年始プログラムとして「子供の急な発熱・ひきつけ」をお送りします。

沖縄県保険医協会 〒902 沖縄県那覇市国場1014番地 TEL.098-832-7813

郵政省からのお願い

年賀状は、できるだけ十二月二十三日ごろまでにお書きいただき、十二月二十四日ごろまでにはお出しください。